



荒川 静香さん 2006年トリノオリンピックフィギュアスケート女子シングル、アジア人として初の金メダルを獲得。小学6年生から高校までを利府町で過ごす。リフノスの図書館にある「おはなしのへや」には、「しーちゃん」こと、荒川静香さんの物語が描かれている。



開館記念トークショー

町民待望の施設 「リフノス」開館

荒川 本日は「リフノス」開館という、利府町にとって大変素晴らしい瞬間に立ち会うことができ、光栄に思っています。私は利府で過ごした時期に、たくさんの方のチャレンジをしながら成長させてもらい、今のプロフィギュアスケーターと

荒川 静香(プロフィギュアスケーター)
あいほら ひろゆき(絵本作家)
熊谷 大(利府町長)
司会 **浮ヶ谷 美穂**(宮城テレビアナウンサー)

開催日時: 7月1日(木) 11時から12時まで
開催場所: 文化交流センター「リフノス」文化会館

しての人生があると思っています。私の生活とスケートは、利府で築いたと言っても過言ではないほど、たくさん思い出が利府町にはあります。そんな利府町に、このような素晴らしい施設ができたことは誇らしく、うれしく思います。

あいほら 「リフノス」の開館、おめでとうございます。僕は、画家の「ちゅうがんだかむ」さんと一緒に、図書館にある「おはなしのへや」の壁面に、荒川さんの子どもの時代から金メダルを取るまでのストーリーを描かせていただきました。なかなか、図書館にドームがあって、ああいう絵が描いてある施設というのは、世界でも利府町だけじゃないかと思えます。もしかしたら、世界中から多くの

人が見に来るのではないかと楽しみにしています。そんな素晴らしいリフノスの立ち上げに参加させていただき、うれしく思います。

町長 リフノスは本当に素敵な施設とは裏腹に色々な壁が多くありました。鉄骨をはじめとした資材不足や、補助金の申請期限の問題、環境に配慮した地中熱を使用することによる、新たな財源の確保。そういう、多くのことが重なって、ようやく誕生したのがリフノスです。また、町民の皆様には、ワークショップで多くの意見やアイデアをいただきました。町民の夢が詰まった施設だと思いますので、ぜひ、ご利用いただきたいと思います。

図書館が町民の「憩いの場」に

司会 約九万冊の蔵書がある、図書館。あいほらさん、荒川さんはご覧になられて、どう思いましたか。

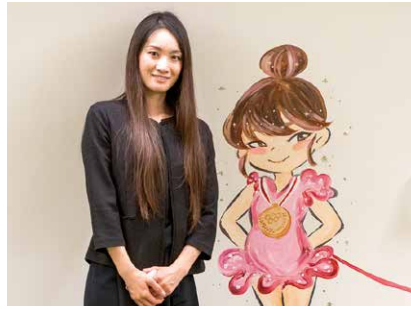
あいほら これだけの規模の図書館は東京にも中々ないので、町民の子どもたちはもちろん、大人も含めてすごく羨ましい施設だなと。カフェや公民館も併設されていて、リフノス全体が町民の憩いの場になると思います。

荒川 本日にその通りだと思います。明るくて、清潔感があります。そしてまた、あいほら先生の絵も癒される色使いであったりタッチであったりと、温もりが感じられます。憩いの場になるというのが、目に見えるように想像がつかます。リフノスは、年齢問わず多くの方がココを訪れたいな、一度行ったらまた行きたいな、また誰かを誘いたいなという気持ちになるような、ステキな場所だな、感じました。



あいほらひろゆきさん(写真右) 仙台市出身の絵本作家。熊の兄弟の末っ子の女の子、ジャッキーの成長を描く、「くまのがっこう」シリーズは人気シリーズとして累計200万部発行。画家の「ちゅうがんだかむ」さん(写真左)と共に、図書館にある「おはなしのへや」に、壁画を製作した。

「こんなステキな図書館に、私を描いてもらえるなんて、夢みたいでした。」



▲「おはなしのへや」の中にも「シーちゃん」が描かれています。

絵本の読み聞かせ

司会 荒川さんは二人のお子さんのお母さんでもありますが、お子さんに絵本の読み聞かせをするということあるんでしょうか。

荒川 はい、あります。聞かせるときは興味を持って聞けるような想像力を膨らませられるような読み方をしてあげたいと思っています。私自身も人に気持ちを伝える、ストーリーを伝えることを学ばせてもらっている、という感じです。

あいはら おこがましいですが、せっかくなのでドームがあって、荒川さんの絵が描いてあるので、

「おはなしのへや」で、荒川さんが絵本の読み聞かせを、利府の子どもたちにしてあげるといっているのほどです。

(拍手喝采)

十月には「シーちゃん」の物語が絵本になるので、その最初の読み聞かせはぜひ、荒川さんご本人からやっていただけたらなんて。こんな利府のごどもたちにとって宝物になるような機会はないと思いますので、荒川さんのお子さんお二人にもお越しただけだと思えます。ぜひそういう機会を町長の方で作っていただけたらと思います。

町長 承りました(笑)

トリノオリンピックの金メダル

町長 皆さん、今日は荒川さんの隣に光っているものがありますよね。トリノオリンピックの金メダルをわがままを言っただけです。



▲貴重なトリノオリンピックの金メダルをお持ちいただきました。

司会 荒川さん、どんなメダルなのか皆さんに見せていただくことはできますか。



▲自ら荒川さんの金メダルを見せる役を買って出る、あいはら先生。

(あいはら先生がメダルを持って観客の皆さまに見せる)

荒川 あいはら先生、お気遣いありがとうございます(笑)

なかなか利府に来るときも、メダルを持って皆さんに見ていただく機会が無いので、皆さまにみてもらえてうれしいです。トリノオリンピックのメダルは、開催地のイタリアのデザインが採用されていて、パッションを感じる赤だったりオレンジだったりという色合いです。オリンピックのメダルの中ではこの様に穴があいているのは結構めずらしいんです。開催地の土地ごとにメダルにも特色があるので、ぜひ東京2020オリンピックでは、そのあたりも楽しみに注目していただければと思います。

リフノスのシンボルツリー

荒川 リフノスの外に、我が家にあった木を大切に引っ越してくだ



▲リフノスの入口には、荒川さんの背丈を大きく超えるシンボルツリーが。



▲荒川さんの意外(?)なトークに会場は大いに盛り上がりました。

さったことに非常に感銘を受けております。私が知っているその木は私よりもはるかに小さい、植木鉢に入っているような木だったので、利府の環境とすごく相性が良かったのが、あんなに大きくなる木だと思わず。ほんとに小さくてひ弱そうな木だったのですが、利府から栄養をいただき、大切にしてくださいました。ありがとうございます。私たち家族もほんとにありがたいなと思います。

町長 冬にはクリスマスツリーにする計画もあります。イルミネーションもステキにやりますので。ぜひ楽しみにしていただければと思います。荒川 木が「イナバウアー」しないことを願っています(笑)まっすぐ、まっすぐと育てていってほしい。



▲あっという間に時間が過ぎ、最後は会場にお越しの全員で記念撮影してお開きとなりました。皆さまも、リフノスにお越しの際は荒川静香さんの物語をご覧ください。